

藤枝・駿河台周辺の樹木

駿河台森づくり委員会・樹木観察会資料(改訂-1版)



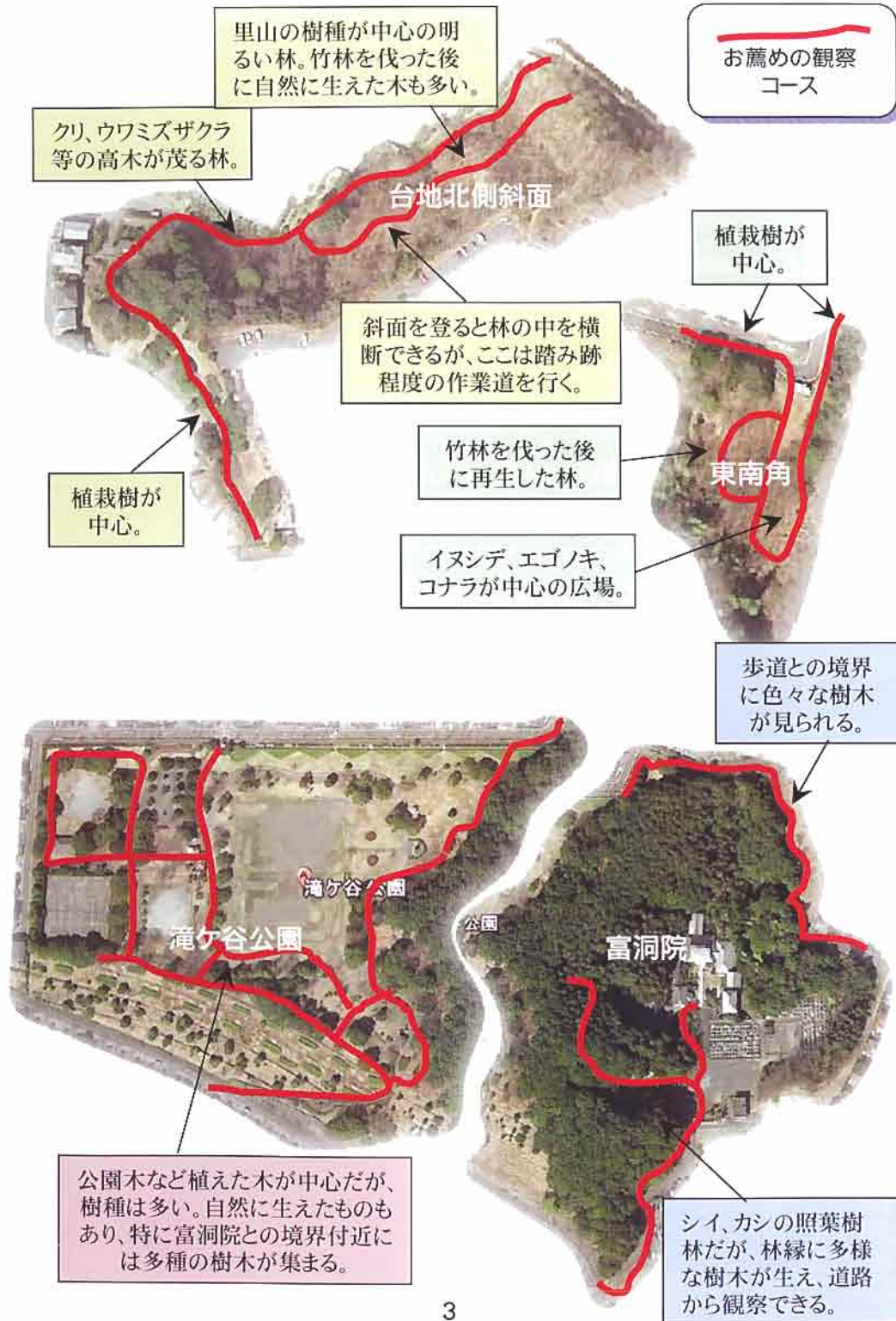
内容

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 駿河台周辺の地図と樹木観察の場所 | —— p 2 ~ 3 |
| 2. 観察できる樹木のリスト | —— p 4 ~ 7 |
| 3. 主要な樹種の解説 | —— p 8 ~ 39 |
| 4. 索引(アイウエオ順) | —— p 40 |

作成： 2014年10月
駿河台森づくり委員会
小久保 忠嘉

※ この冊子は、2013年に「滝ヶ谷公園の樹木」として製作した観察会テキストを増補、改訂したものです。対象範囲を公園以外の駿河台地域にも広げ、156種の樹木をリストに載せました。イラストによる解説樹種も、64種まで増やしました。

駿河台周辺 (樹木観察の適地) マップ



駿河台周辺の樹木リスト

樹木の区分

- 常緑樹
- 落葉樹
- 常緑蔓性
- 落葉蔓性

太字(ゴシック)の樹種は、イラストを使った詳細解説のあるもの。

観察できる場所 マップの色

- 滝 滝ヶ谷公園
- 院 富洞院の森
- 東 東南角の緑地
- 北 北側斜面の林

- 限られた本数がある。
- 沢山の本数がある。

★は雌雄異株を、【国名】は原産国を、|は別名を表します。樹種の分類や配列は、従来から図鑑などに広く使われてきたエングラール分類体系に従っています。

科名	樹木名	備考	滝	院	東	北
イチョウ	イチョウ	★【中国】、針葉樹に近い				
マキ	イヌマキ	★ 山地に生え、庭木にも使う				
マツ	クロマツ	海岸性、雄松ともいう				
	アカマツ	痩せ地にも多い、雌松とも言う				
	ヒマラヤスギ	世界3大公園木の一つ				
スギ	スギ	植林地に普通だが、野生もする				
	メタセコイア	【中国】、生ける化石として有名				
ヒノキ	ヒノキ	材の耐久性が高く、植林が多い				
	サワラ	ヒノキに材は劣るが、水湿に強い				
イネ	モウソウチク	節の環が一つ(マダケとの違い)				
	メダケ	名前はタケだが、ササの一種				
ユリ	サルトリイバラ	★ 赤い集合果、【サンキライ】				
ヤマモモ	ヤマモモ	★ 果実はおいしい、庭木に多い				
クルミ	オニグルミ	川沿いに生える、実は可食				
カバノキ	イヌシデ	里山に普通のシデ				
	サワシバ	シデ類だが、この辺には少ない				
ブナ	コナラ	里山に普通、樹液に虫が集まる				
	アラカシ	山地に普通のカシ、荒々しい感じ				
	シラカシ	樹形が整い、庭木や公園樹に				
	ウラジロガシ	葉裏が白く、鋸歯が鋭い				
	ウバメガシ	暖地の海沿いに生える				
	クヌギ	鋸歯は針状、ドングリは丸く大きい				
	クリ	クヌギに似る、材は腐りにくい				
	アベマキ	クヌギに似るが、関西圏に多い				
	マテバシイ	ドングリは細長く大きい、可食				
	スダジイ	皿がドングリ全体を覆う、可食				
ツブラジイ	ドングリは小さく丸い、【コジイ】					

科名	樹木名	備考	滝	院	東	北
ニレ	ケヤキ	箒のような樹形、街路樹に多い				
	エノキ	オオムラサキの食草、実は可食				
	ムクノキ	葉の表裏がザラザラ、実は可食				
クワ	イヌビワ	★ 実は小型のイチジクで可食				
	ヤマグワ	★ 野生のクワ、実は甘くおいしい				
カツラ	カツラ	山地の谷沿いに生える				
アケビ	アケビ	葉は5枚の掌状複葉				
	ミツバアケビ	葉は3枚の掌状複葉				
メギ	ナンテン	3回出の羽状複葉が独特				
	ヒイラギナンテン	葉がヒイラギに似る、実は紺色				
モクレン	シモクレン	【中国】、花は紫色、【モクレン】				
	ハクモクレン	【中国】、花は白色で大きい				
	コブシ	桜より早く、早春に白い花が咲く				
	タイサンボク	【北米】、白い大輪の花が咲く				
	ホオノキ	葉も花も非常に大きい				
	ユリノキ	【北米】、花はチューリップ状				
	サネカズラ	★ 赤い実が綺麗、【ヒナンカズラ】				
クスノキ	クスノキ	常緑だが毎年落葉、樟腦の原料				
	ヤブニッケイ	葉はクスに似るが、幹が平滑				
	タブノキ	枝の先に大きな冬芽がつく				
	クロモジ	★ 枝を折ると芳香、爪楊枝にする				
	アブラチャン	★ 昔、実から油を絞った				
ユキノシタ	アジサイ	装飾花が目立つ、園芸種が多い				
	コアジサイ	装飾花はないが淡青の花が美しい				
	ウツギ	「卯の花」で知られる、幹が空洞				
トベラ	トベラ	★ 葉が車輪状に展開する				
マンサク	マンサク	早春に黄色い糸状の花が咲く				
	トサミズキ	高知県に自生、庭木として人気				
	イスノキ	色々な虫コブが沢山できる				
バラ	ウメ	【中国】、園芸品種が多い				
	ソメイヨシノ	オオシマとエドヒガンの交配種				
	ヤマザクラ	花と葉が同時、若葉は赤っぽい				
	オオシマザクラ	若葉は緑色、葉を桜餅に使う				
	マメザクラ	富士山周辺に多い、【フジザクラ】				
	ウワミズザクラ	白いブラシのような花が咲く				
	ボケ	【中国】、棘がある、庭木など				
	カマツカ	白い小さな梅のような花が咲く				
	シャリンバイ	葉が車輪状に開きトベラに似る				
	カナメモチ	新葉が赤い、垣根によく使う				
ビワ	東海以西、果樹として広く栽培					
	トキワサンザシ	【西アジア】、【ヒラカンサ】				
	ユキヤナギ	枝垂れて柳のようだがバラ科				
マメ	ニセアカシア	【北米】、繁殖力強、【ハリエンジュ】				
	ネムノキ	2回出の羽状複葉を持つ				

科名	樹木名	備考	滝	院	東	北
マメ(続)	フジ	藤枝市の花、庭木等、[ノダフジ]				
	ハナズオウ	【中国】、葉の前に桃色の花				
	マルバハギ	身近な山野に多い、葉が丸く小さい				
	ヤマハギ	山野に最も普通、葉は3出複葉				
	クズ	暖地に普通、草本の性格も持つ				
ミカン	カラスザンショウ	★ 羽状複葉、葉に柑橘系の臭い				
	サンショウ	★ 小さな葉と対生する棘が特徴				
ニガキ	ニワウルシ	★ 【中国】、繁殖力強い、[シンジュ]				
トウダイグサ	アカメガシワ	どこにでも生える雑草のような木				
	ナンキンハゼ	【中国】、紅葉が美しい				
	ヒメコスリハ	★ 暖地の海沿いに生える				
ウルシ	ヤマウルシ	★ カブレで有名、真っ先に紅葉				
	ハゼノキ	★ 実から蠟を採る、真っ先に紅葉				
	ヤマハゼ	★ ハゼノキに似るが、葉が有毛				
	ヌルデ	★ 葉軸に翼がある、虫コブが多い				
モチノキ	クロガネモチ	★ 葉柄の赤紫色が特徴、庭木に				
	モチノキ	★ 葉柄は赤くならない				
	アオハダ	★ 枝を棚状に広げる、内皮が緑色				
	イヌツゲ	★ ツゲと違って葉が互生、材は劣る				
ニシキギ	ニシキギ	幹に翼がある、紅葉が綺麗				
	ツルウメモドキ	★ 黄色い実がなる				
ミツバウツギ	ゴズイ	羽状複葉で、実の赤と黒が目立つ				
カエデ	イロハモミジ	庭木[タカオカエデ]、紅葉で有名				
	イタヤカエデ	カエデ類では唯一、葉が全縁				
	ウリハダカエデ	★ 山地に生え、樹皮が瓜肌似る				
	トウカエデ	【中国】、街路樹、紅葉が美しい				
ブドウ	エビヅル	★ 野山に普通、ブドウに似て可食				
	サンカクヅル	★ エビヅルに似る、葉が三角状				
ホルトノキ	ホルトノキ	ヤマモモに似るが赤い葉が混じる				
アオイ	ムクゲ	【中国】、韓国の国花、園芸種多い				
アオギリ	アオギリ	葉が大きく、幹は緑色				
ツバキ	ヤブツバキ	海沿いに多い、花はそのまま落下				
	サザンカ	山に多い、花は花弁が散って落下				
	カンツバキ	サザンカの改良種				
	サカキ	平滑な葉と鎌刃のような芽が特徴				
	ヒサカキ	★ 花にガス臭、実が葉軸に集まる				
	モッコク	「庭木の王様」と言われる				
	ヒメシャラ	樹皮が赤っぽく、剥がれやすい				
	ナツツバキ	ヒメシャラに似るが、花が大きい				
	チャノキ	【中国】、若葉をお茶に使う				
オトギリソウ	キンシバイ	【中国】、黄色い花が目立つ				
グミ	ツルグミ	葉裏に銀色の鱗片、冬に花が咲く				
ミンハギ	サルスベリ	【中国】、葉序が独特				
ザクロ	ザクロ	【西アジア】、果樹として利用				

科名	樹木名	備考	滝	院	東	北
ウコギ	タラノキ	陽当たりの良い山野に普通、棘あり				
	ハリギリ	タラノキ同様、新芽は可食、棘あり				
	ヤツデ	八つ手と言うが葉は普通9裂				
	カクレミノ	葉は0~3裂、日陰に多い				
	キツタ	付着根ではい上がる				
ミズキ	ハナミズキ	【北米】、白花が原種				
	ヤマボウシ	花に見えるのは苞で先が尖る				
	アオキ	★ 日陰で育ち、林床などに多い				
ツツジ	ドウダンツツジ	スズランに似た花、紅葉がきれい				
	サツキ	葉先が尖る、ツツジより遅く開花				
	モチツツジ	花はピンク、萼が粘る				
	ヒラドツツジ	長崎県から広まった、葉が大きい				
	アセビ	スズランに似た花、有毒				
	シャシャンボ	ツツジには見えない、実は可食				
リョウブ	リョウブ	山野に普通、新芽は可食				
ヤブコウジ	マンリョウ	林内に多い、縁起のよい木				
カキノキ	カキノキ	実は食用で、栽培される				
ハイノキ	ミミズバイ	果実がミミズの頭に似る				
エゴノキ	エゴノキ	雪が降ったように白花が沢山咲く				
	ハクウンボク	山に生える、エゴノキ似の花				
モクセイ	キンモクセイ	★ 【中国】、花が強く香る				
	シナレンギョウ	★ 【中国】、レンギョウより多い				
	ヒイラギモクセイ	★ ヒイラギとキンモクセイの雑種				
	ヒイラギ	★ 老木では葉に棘がない				
	トウネズミモチ	葉はモチノキに似るが、対生する				
	イボタノキ	葉先に白い筒状の花穂をつける				
	マルバアオダモ	★ 白い糸屑のような花が美しい				
	プリベツト	【欧州】、セイウイボタノキ				
キョウチクトウ	キョウチクトウ	【インド】、花が綺麗だが有毒				
ノウゼンカズラ	キササゲ	細長い鞘のような実がなる				
クマツヅラ	クサギ	葉に独特の臭い、蝶が集まる				
	ムラサキシキブ	紫色の実がつけば、それと分かる				
	ヤブムラサキ	ムラサキシキブ似だが葉が毛深い				
アカネ	クチナシ	実は橙色で食用着色剤になる				
スイカズラ	ハコネウツギ	花は白色から紅色に変わる				
	スイカズラ	白と黄の花で金銀花と呼ばれる				
	ガマズミ	鮮やかな赤い実は果実酒に				
	コバノガマズミ	ガマズミより葉が小さく先が尖る				
	ニワトコ	山野に生える、薬用になる				
	アベリア	【中国】、植え込みに多用				
	サンゴジュ	実と葉柄の赤が目立つ				

この樹木リストは網羅的なものではなく、抜けも多くまた間違いもあると思います。今後、機会を見て内容を更に補充しながら改訂して行きたいと思っています。

アカマツ(赤松)

Pinus densiflora

マツ科 マツ属

- ◆ 山の尾根など陽当たりの良い所に生える常緑高木。共生菌の働きで、やせた土地でも成長できる。
- ◆ 雌花は2年かけて、マツボックリになる。成熟したマツボックリは乾燥すると傘を開き、翼のついた種子を放出する。
- ◆ クロマツに比べ樹皮が赤褐色の他、葉が細く軟らかい(手で触ってもあまり痛くない)、冬芽が赤っぽいなどの違いがある。
- ◆ このため、「雌松」とも呼ばれる。(クロマツは「雄松」)
- ◆ マツクイムシの被害が増えている。

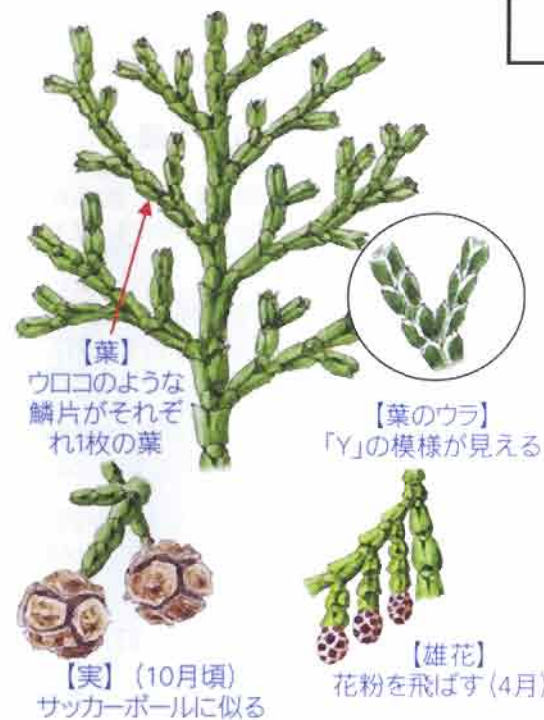


ヒノキ(檜)

Chamaecyparis obtusa

ヒノキ科 ヒノキ属

- ◆ 日本と台湾に自生する常緑高木。スギと並んで各地で広く植林されており、木曽を始め有名産地が多い。
- ◆ 最高級の建材になる。特に耐久性が高いので、社寺建築にも多用される。
- ◆ ヒノキ属の樹木は互によく似ているが、それぞれ葉裏の白い模様(気孔帯)が異なるので見分けられる。ヒノキは「Y」字形をしている。
- ◆ 防腐効果のあるヒノキチオール等の精油を含み、よい香りがする。
- ◆ 火おこしに有用で、「火の木」と呼ばれたのが名の由来とされる。



スギ(杉)

Cryptomeria japonica

スギ科 スギ属

- ◆ 日本固有種の常緑高木。材として加工しやすく有用性が高いので、日本各地で大量に植林されている。
- ◆ 深山には天然のものも残る。寿命が長く、社寺林などには大木も多い。
- ◆ 枝葉が玉状にまとまるので、遠くから見ると入道雲のようにモコモコ見える。(三角形の樹形になるヒノキとの違い)
- ◆ 枝先に沢山の雄花がつき、早春に大量の花粉を飛散させる。花粉症の元凶として、悪名高い。
- ◆ 真っ直ぐ伸びるので「直木(すくぎ)」と呼ばれたのが、名の由来。



サワラ(榎)

Chamaecyparis pisifera

ヒノキ科 ヒノキ属

- ◆ 本州中部の深山に生える常緑高木、特に沢浴いなど湿気の多い所を好む。時に庭木や公園樹としても使われる。
- ◆ 鱗片状の葉を持つヒノキの仲間、外観はヒノキによく似ている。葉裏の白い模様(気孔帯)の形が、サワラは「X」字状に見える点で区別できる。またサワラは鱗片葉が尖っているが、ヒノキは丸みを帯びている。
- ◆ 花は地味で目立たない。実はヒノキに似た球果だが、より凹凸が目立つ。
- ◆ 材はヒノキより劣るが、加工しやすく水湿に強いので、昔から風呂桶などの桶類に使われてきた。



ヤブムラサキ(藪紫)

Callicarpa mollis
クマツツラ科 ムラサキシキブ属

- ◆ 暖帯～温帯の低山や里山に普通に生える落葉低木。株立ちしやすい。ムラサキシキブと同じような所に生え、駿河台周辺にも多い。
- ◆ 葉は対生し、細長く先端が伸びて尖る。ムラサキシキブによく似ているが、葉の両面や葉柄、若枝にフワフワした毛が多い点異なる。特に葉を触ってみるとピロードのような手ざわりで、すぐ分かる。
- ◆ 葉腋に黄色の葯が目立つ白い花が咲き、秋には丸い紫色の実になる。これはムラサキシキブと同じ。しかし花や実の萼にも毛が多い、花も実も葉の下側に出る、また実の数は少ないがやや大きめ、等の点で異なる。

ハコネウツギ(箱根空木)

Weigela coraeensis
スイカズラ科 タニウツギ属

- ◆ 沿海地に自生する落葉低木だが、名前に反し箱根には自生しない。観賞用に公園樹や庭木として使われる。
- ◆ 花は初め白いが徐々に紅色に変化するので、紅白が入り交じって賑やか。葉はアジサイのように光沢がある。名はウツギだが髓が中空でなく白色。
- ◆ よく似たニシキウツギは山地に自生し、葉に光沢がない。タニウツギも本種に似ているが、花が赤一色で自生地は主に日本海側。
- ◆ 樹皮は灰褐色で縦に裂けて剥がれる。実は黒褐色の筒状蒴果で、熟すと割れるが花と違って艶やかさが無い

ガマズミ(莢蒾)

Viburnum dilatatum
スイカズラ科 ガマズミ属

- ◆ 身近な里山や山地に普通に生える落葉低木。
- ◆ 丸みのある葉が対生する。葉縁には波状の鋸歯があり、葉脈の凹凸が目立つ。株立ちして広がった葉の上に、小さな白い花が沢山つく。
- ◆ 秋には真っ赤な実が沢山つき、上に突き出して広がるので、とても目立つ。甘酸っぱく食べられるので、鳥もこれが大好き。
- ◆ 名前の由来はよく分からない。
- ◆ 滝ヶ谷公園では遊歩道沿いに植えられているが、自生と思われるものもある。

コバノガマズミ(小葉莢蒾)

Viburnum erosum
スイカズラ科 ガマズミ属

- ◆ 身近な里山や山地にごく普通に生える落葉低木。駿河台周辺では、ガマズミよりこちらの方が多い。
- ◆ 葉はガマズミより細長く小型で、先端が尖る。また葉柄が短く、葉のつけ根に小さな針状の托葉が残っていることが多い。
- ◆ 花も実もガマズミよりやや小ぶり。
- ◆ ガマズミ同様に秋に紅葉し、時には真っ赤な葉を見せてくれる。
- ◆ 実は赤く熟し、上に突き出して広がる。食べられるが、ガマズミよりやや酸味が強いようだ。

【花】
(6～7月)
葉の下側に出る



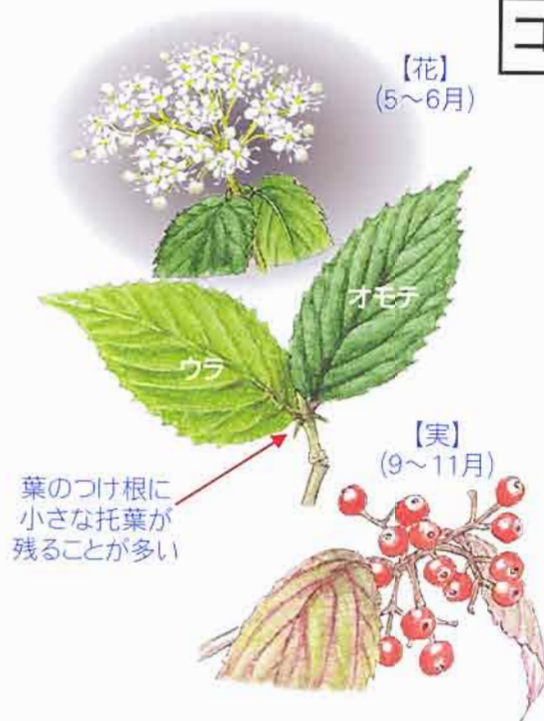
【花】
(5～6月)



【花】
(5～6月)
色が白から
紅色に変わる



【花】
(5～6月)



索引

- ◆ 解説ページの索引
- ◆ アイウエオ順

樹木名	ページ
アオハダ	29
アカマツ	8
アカメガシワ	27
アケビ	18
アブラチャン	22
アラカシ	12
イスノキ	24
イタヤカエデ	30
イヌシデ	10
イヌビワ	17
イボタノキ	36
イロハモミジ	30
ウラジロガシ	13
ウワミズザクラ	25
エゴノキ	35
エノキ	16
ガマズミ	39
カラスザンショウ	26
クサギ	37
クスノキ	21
クヌギ	13
クリ	14
クロガネモチ	29
クロモジ	22
ケヤキ	16
コナラ	11
コバノガマズミ	39
コブシ	20

サザンカ	31
サワシバ	11
サワラ	9
シモクレン	19
シャシャンボ	34
シャリンバイ	26
シラカシ	12
スギ	8
スダジイ	15
タイサンボク	20
タブノキ	21
ツブラジイ	15
トサミズキ	24
トベラ	23
ナツツバキ	33
ハクモクレン	19
ハコネウツギ	38
ハゼノキ	28
ハナミズキ	33
ヒサカキ	32
ヒノキ	9
マテバシイ	14
マルバアオダモ	36
マンサク	23
ミツバアケビ	18
ムラサキシキブ	37
モッコク	32
ヤブツバキ	31
ヤブムラサキ	38
ヤマウルシ	27
ヤマグワ	17
ヤマザクラ	25
ヌルデ	28
ヤマボウシ	34
ヤマモモ	10
リョウブ	35